



## 仙台防災未来フォーラム 2023 でイオン防災環境都市創生共同研究部門の発表・展示を行いました (2023/3/4)

テーマ：共同研究、レジリエント・コミュニティ

会場：仙台国際センター、オンライン同時配信

URL：[https://irides.tohoku.ac.jp/event/annual\\_symposium/houkokukai/memorial2023.html](https://irides.tohoku.ac.jp/event/annual_symposium/houkokukai/memorial2023.html)

2023年3月4日(土)15時から16時15分まで、当研究所のイオン防災環境都市創生共同研究部門は、仙台国際センターで開催された仙台市主催「仙台防災未来フォーラム」の参加行事として、「レジリエント・コミュニティの創生を目指して—イオン防災環境都市創生共同研究部門の活動—」と題する発表を行いました。本部門は、イオンモール(株)、公益財団法人イオン環境財団及び当研究所が共同で2021年10月に立ち上げ、仙台市雨宮地区の東北大学農学研究科跡地に建設予定のイオンモールの防災、緑化、感染症対策を研究することを目的に、3年間の予定で活動を行っています。

当日は、次の内容を会場とオンライン同時配信で開催しました。

1. 開会あいさつ・趣旨説明 今村 文彦 所長・教授(津波工学研究分野)
2. 各部門からの報告
  - (1) 防災・減災部門 丸谷 浩明 副所長・教授(防災社会推進分野)
  - (2) 社のデザイン部門 山本 百合子 特任教授(客員)・公益財団法人イオン環境財団 専務理事兼事務局長  
定池 祐季 助教(イオン防災環境都市創生共同研究部門)
  - (3) 感染症対策部門 児玉 栄一 教授(災害感染症学分野)
3. 質疑応答
4. 閉会あいさつ 丸谷 浩明 教授

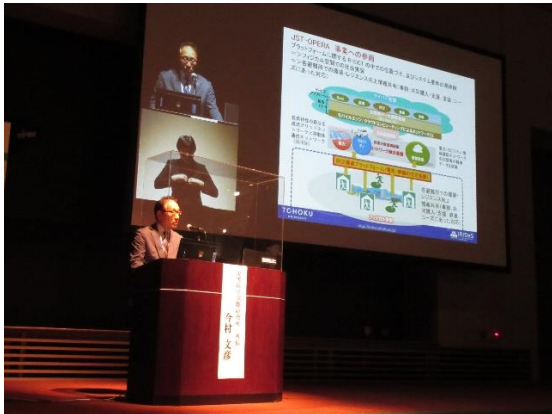
司会進行：定池 祐季 助教

参加者は、会場に約50名、オンライン約20名で、会場からは検討している新技術に関する質問もあり、今後の取り組みへの期待のコメントもいただきました。

また、同会場内の展示ブースにおいて、「東北大学災害科学国際研究所イオン防災環境都市創生共同研究部門の活動」と題して展示も行いました。当部門の紹介、社のデザイン部門の活動(どんぐり拾いの活動など)、防災・減災部門の活動、イオン環境財団の活動のポスター展示とどんぐり拾い活動等のビデオ映像も閲覧いただきました。

当部門では、雨宮地区のイオンモールの防災(周辺地域との連携を含む)、緑化、感染症対策について、より具体的な研究を進めていく予定です。

文責：丸谷 浩明(防災社会推進分野・イオン防災環境都市創生共同研究部門)  
(次頁へつづく)



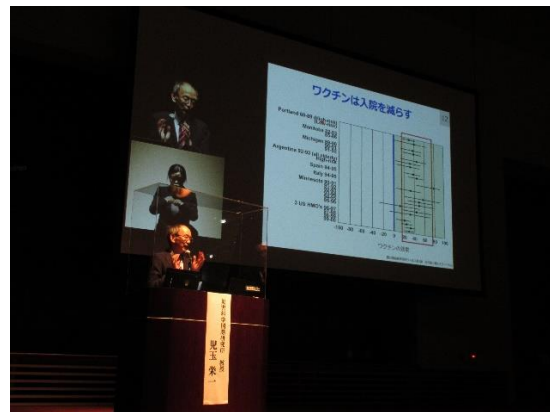
開催趣旨説明 今村所長・教授



防災・減災部門発表 丸谷教授



社のデザイン部門発表  
山本特任教授（客員）



感染症対策部門発表 児玉教授



展示ブース 定池助教